

問題 000 精算表の誤記入の判明

次の精算表では、損益計算書と貸借対照表の当期純利益の額が異なって記入されています。この誤りについて下記の設問に答えてください。

精 算 表 (単位:千円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	580						580	
売掛金	2,900						2,900	
繰越商品	300		① 320	① 300			320	
前受金	80						80	
買掛金		2,240						2,240
前払金		100						100
備 品	300						300	
貸倒引当金		40		② 30				70
減価償却累計額		120		③ 20				140
資本金		1,500						1,500
売 上		5,000				5,000		
仕 入	3,920		① 300	① 320	3,900			
給 料	600				600			
支払家賃	300			50	250			
仕入割引	20				20			
合 計	9,000	9,000						
貸倒引当金繰入			② 30		30			
減価償却費			③ 20		20			
前払家賃			④ 50					50
当期純利益					180			80
合計			720	720	5,000	5,000	4,180	4,180

◆「前払金」は「前渡金」ともいいます。

設問 - 1

当期純利益の金額が合っていない原因は何ですか。次に掲げる原因のうち、最も適切なものの組み合わせを下の解答群から選んでください。

- a. 貸借対照表勘定と損益計算書勘定を混同しています。
- b. 資産勘定と負債勘定を混同しています。
- c. 資産勘定と資本勘定を混同しています。
- d. 収益勘定と費用勘定を混同しています。
- e. 金額を転記する際に、借方と貸方を混同しています。

【解答群】

- ア. aとbとc イ. aとbとd ウ. aとcとe
 エ. bとdとe オ. cとdとe

設問 - 2

精算表を正しく作り替えたときに当期純利益の額はいくらになりますか。

- ア. 60千円 イ. 130千円 ウ. 180千円 エ. 220千円

問題 000 の解答と解説

以下のプロセスで解答します。誤った原因を解答欄の a～e の記号で表します。

考え方のプロセス

プロセス-1 試算表の資産、負債、資本、費用、収益の分類チェック

試算表の上から順番にチェックしていきます。

- 前受金（負債・貸方科目）が借方に記帳されています。——→ b
- 前払金（資産・借方科目）が貸方に記帳されています。——→ b
- 仕入割引（収益・貸方科目）が借方に記帳されています。——→ d

プロセス-2 損益計算書、貸借対照表のチェック

- 決算整理仕訳によって修正された科目の前払家賃（資産・借方科目）が貸借対照表の貸方に記入されています。——→ e
- 以上より、設問-1 は b、d、e が選択させることよりエが正解です。

プロセス-3

上記の訂正後の当期純利益は損益計算書、貸借対照表どちらからも求めることができますが、損益計算書から求めるほうが計算が簡単です。仕入割引の 20 万円のみを借方から貸方へ修正すれば当期純利益 220 千円が求めれます。したがって、設問-2 の正解はエです。

◆仕入割引は営業外収益です。詳しくは Unit-〇〇参照